

オンラインセミナー

過去問から学習ポイントを逆算！
誰でも簡単にできる
「7割逆算式学習法」

18:00から開始になります。
開始まで今しばらくお待ちください。

TAC専任講師 岡部正昭

オンラインセミナー

過去問から学習ポイントを逆算！
誰でも簡単にできる
「7割逆算式学習法」

TAC専任講師 岡部正昭

本日の内容

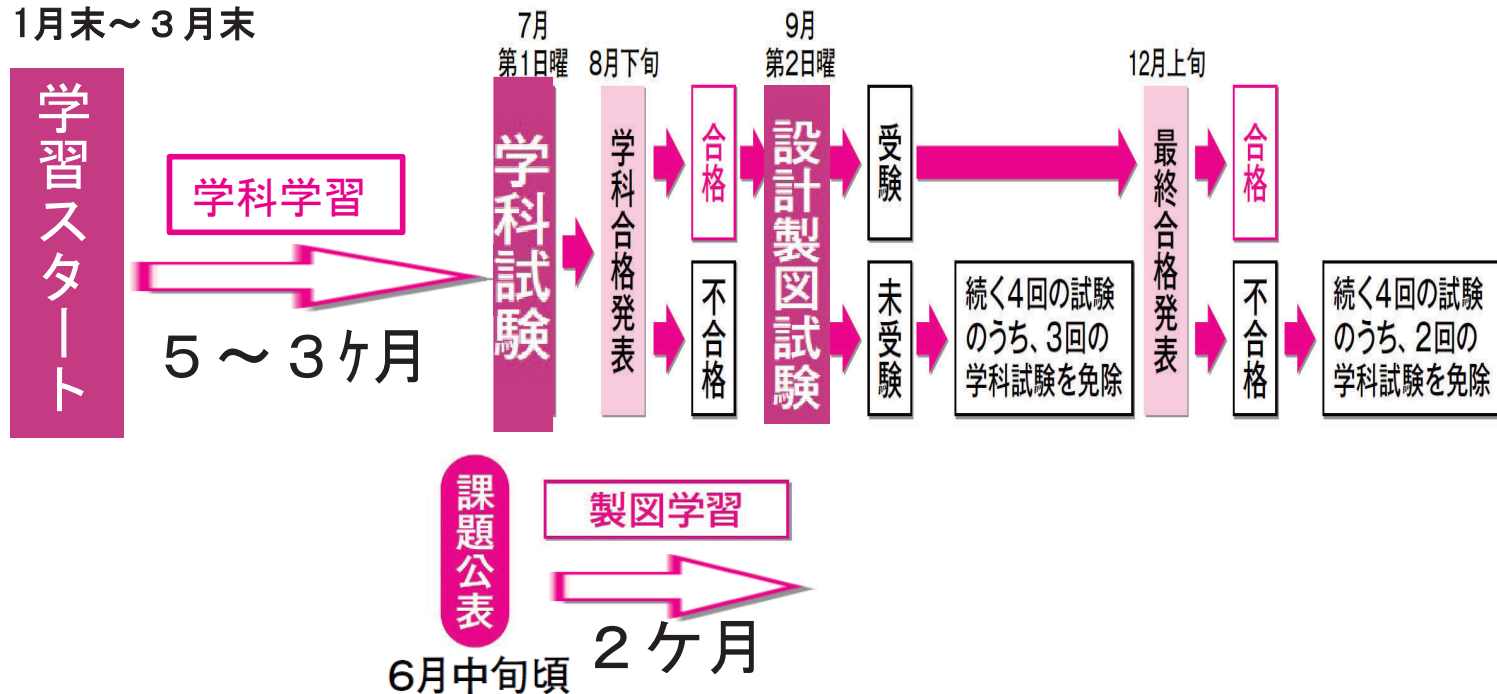
1. 二級建築士試験の概要
2. 過去本試験問題の分析
3. 【7割逆算式学習法】
4. TACの講座のご紹介
5. 質疑応答

1. 二級建築士学科試験の概要

全体スケジュール

令和6年

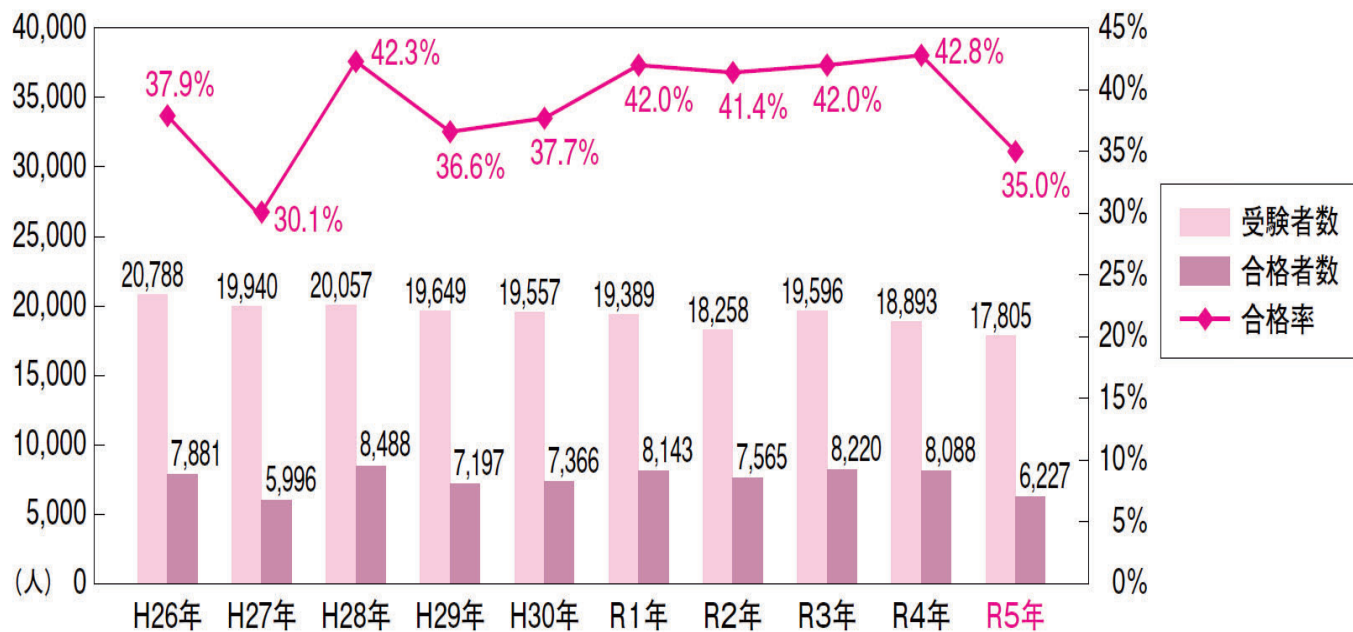
1月末～3月末



合格率（学科）

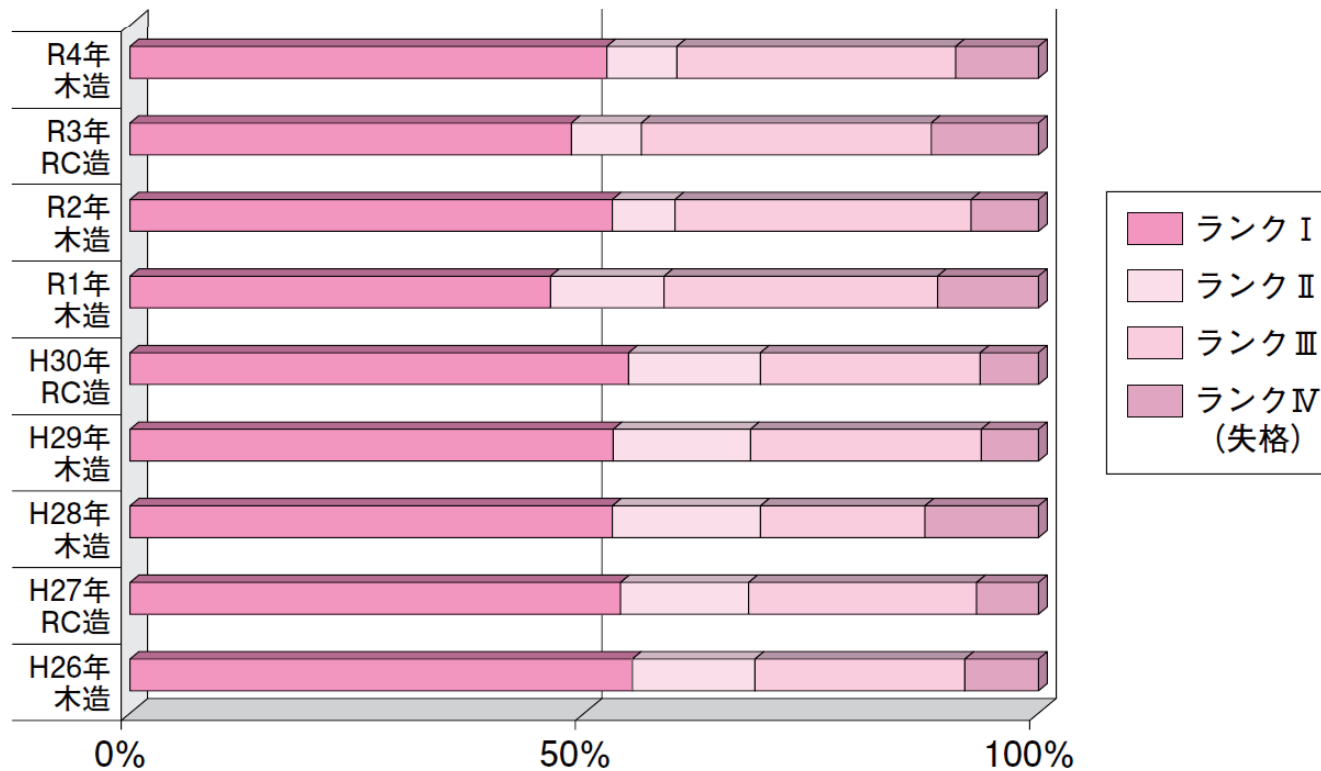
R5年 35.0%（6,227人/17,805人）

平成26年～令和5年の学科試験・受験者データの推移



合格率（製図）

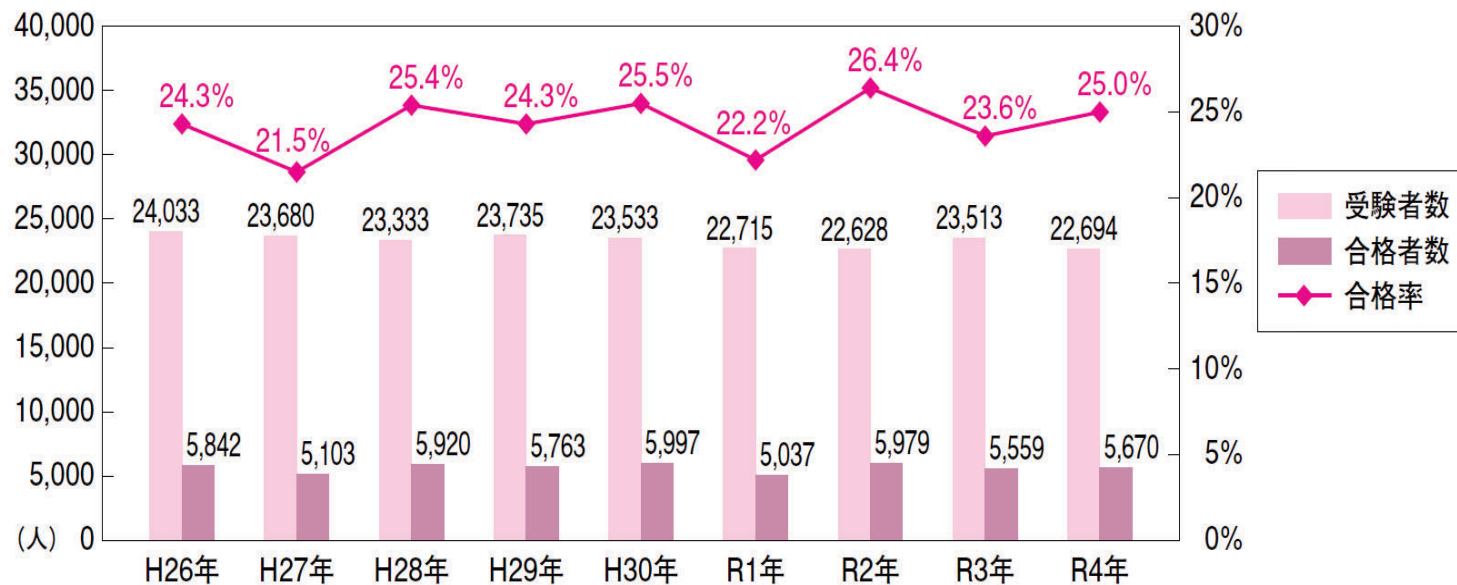
R5年木造 ランク I 49.9% II 5.7% III 37.7% IV 6.51%



合格率（最終）

R5年 22.3%（4,985人/22,328人）

平成26年～令和4年の「最終合格率」・受験者データの推移



学科試験の構成

科目数： **4** 科目

計画・法規・構造・施工

出題数： 各科**25**問

4 科目 × 25問 = 100問

学科試験の構成

試験形式：五肢択一

試験時間：計画・法規で **3** 時間
構造・施工で **3** 時間

学科試験の構成

出題内容

- 計画** ⇒ 建築史 2 問
環境工学 8 問
計画各論 8 問
建築設備 7 問
- 法規** ⇒ 建築基準法 20 問
建築士法 2 問
関係法令 3 問

学科試験の構成

出題内容

構造 ⇒ 構造力学 6 問

各種構造 13 問

建築材料 6 問

施工 ⇒ 仮設工事 5 問

各種工事 18 問

積算・請負契約 2 問

過去の合格基準点

平成26年～令和5年の学科試験・合格基準点の推移（科目別・全体）

（科目別配点）	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R 1年	R 2年	R 3年	R 4年	R 5年
学科Ⅰ（建築計画） 【25点】	13点	13点	13点	13点	13点	13点	13点	14点	13点	13点
学科Ⅱ（建築法規） 【25点】	13点	13点	13点	13点	13点	13点	13点	13点	14点	13点
学科Ⅲ（建築構造） 【25点】	13点	13点	13点	13点	13点	13点	13点	13点	14点	13点
学科Ⅳ（建築施工） 【25点】	13点	12点	13点	13点	13点	13点	13点	13点	13点	13点
総得点【全体】	60/100点	59/100点	60/100点	60/100点	60/100点	60/100点	60/100点	60/100点	60/100点	60/100点

2.過去本試験問題の分析

二級学科試験の特徴 1

過去問が繰り返し
出題される。

➔ 2級建築士の学科試験は、
特に顕著

例 (R5計画No17.)

高齢者や身体障がい者等に配慮した建築物に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 一戸建て住宅において、車椅子使用者のために、壁付コンセントの中心高さを、抜き差しを考慮して、床面から250mmとした。
2. 物販店舗において、外国人のために、案内表示には図記号（ピクトグラム）を用い、多言語を併記する計画とした。
3. 病院において、発達障がい者のために、外部から音や光を遮り、一人でも静かに過ごせるカームダウン・クールダウンスペースを計画した。
4. 集合住宅の共用廊下において、高齢者、障がい者等の通行の安全上支障がないように、各住戸の外開き玄関扉の前にアルコーブを設けた。
5. 公衆便所において、杖使用者等が立位を保つために、床置き式の男子小便器の両側に設ける手摺すりの高さを、床面から850mmとした。

例 (R5計画No17.)

高齢者や身体障がい者等に配慮した建築物に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 過去問** × 一戸建て住宅において、車椅子使用者のために、壁付コンセントの中心高さを、抜き差しを考慮して、床面から250mmとした。
- 過去問** ② 物販店舗において、外国人のために、案内表示には図記号（ピクトグラム）を用い、多言語を併記する計画とした。
- 新問** ③ 病院において、発達障がい者のために、外部から音や光を遮り、一人でも静かに過ごせるカームダウン・クールダウンスペースを計画した。
- 過去問** ④ 集合住宅の共用廊下において、高齢者、障がい者等の通行の安全上支障がないように、各住戸の外開き玄関扉の前にアルコーブを設けた。
- 新問** ⑤ 公衆便所において、杖使用者等が立位を保つために、床置き式の男子小便器の両側に設ける手摺すりの高さを、床面から850mmとした。

例 (R5計画No22.)

給排水衛生設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 緊急遮断弁は、地震を感知した場合に閉止し、非常用の水を確保するために受水槽への水道引込管に取り付ける。
2. 飲食店の厨房機器における排水管の末端は、排水口空間を設ける間接排水にしなければならない。
3. 大便器において、必要な給水圧力と給水配管径は、ロータンク方式より洗浄弁（フラッシュバルブ）方式のほうが大きい。
4. バキュームブレーカーは、吐水した水又は使用した水が、逆サイホン作用により給水管に逆流することを防止するために設ける。
5. 合併処理浄化槽の規模や容量を表す処理対象人員は、排出される排水量やBOD量が何人分に相当するかを換算したものである。

例 (R5計画No22.)

給排水衛生設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 新問** × 緊急遮断弁は、地震を感知した場合に閉止し、非常用の水を確保するために受水槽への水道引込管に取り付ける。
- 新問** ② 飲食店の厨房機器における排水管の末端は、排水口空間を設ける間接排水にしなければならない。
- 過去問** ③ 大便器において、必要な給水圧力と給水配管径は、ロータンク方式より洗浄弁（フラッシュバルブ）方式のほうが大きい。
- 過去問** ④ バキュームブレーカーは、吐水した水又は使用した水が、逆サイホン作用により給水管に逆流することを防止するために設ける。
- 新問** ⑤ 合併処理浄化槽の規模や容量を表す処理対象人員は、排出される排水量やBOD量が何人分に相当するかを換算したものである。

過去問と同じ内容の肢の割合

25問×5肢＝125肢のうち過去問と同じ内容の肢の割合

科目	過去問と同じ内容	新規の内容
計画	67%	33%
法規	79%	21%
構造	81%	19%
施工	66%	34%

R5本試験問題の分析

正答肢が過去問と同じ内容の割合

25問のうち正答肢が過去問と同じ内容の問題

科目	過去問で決まる問題	新規で決まる問題
計画	76%	24%
法規	68%	32%
構造	80%	20%
施工	68%	32%

R5本試験問題の分析

攻略のポイント 1

① 過去問を押さえる

➡ 過去問が正答肢の問題が 7 割

➡ 新規が正答肢の問題でも、
2 択～3 択に絞り込みが可能

二級学科試験の特徴 2

過去問の中でも重要な
過去問がある！

- ➔
- ・ 毎年のように出題
 - ・ 繰り返し不適當で出題

例 (R5計画No17.)

高齢者や身体障がい者等に配慮した建築物に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

過去問 × 一戸建て住宅において、車椅子使用者のために、壁付コンセントの中心高さを、抜き差しを考慮して、床面から250mmとした。

過去問 ② 物販店舗において、外国人のために、案内表示には図記号（ピクトグラム）を用い、多言語を併記する計画とした。

新問 ③ 病院において、発達障がい者のために、外部から音や光を遮り、一人でも静かに過ごせるカームダウン・クールダウンスペースを計画した。

過去問 ④ 集合住宅の共用廊下において、高齢者、障がい者等の通行の安全上支障がないように、各住戸の外開き玄関扉の前にアルコーブを設けた。

新問 ⑤ 公衆便所において、杖使用者等が立位を保つために、床置き式の男子小便器の両側に設ける手摺すりの高さを、床面から850mmとした。

例 (R5計画No17.)

高齢者や身体障がい者等に配慮した建築物に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

過去問 **×**
(重要)

一戸建て住宅において、車椅子使用者のために、壁付コンセントの中心高さを、抜き差しを考慮して、床面から250mmとした。

過去問 **○**

2. 物販店舗において、外国人のために、案内表示には図記号（ピクトグラム）を用い、多言語を併記する計画とした。

新問 **○**

3. 病院において、発達障がい者のために、外部から音や光を遮り、一人でも静かに過ごせるカームダウン・クールダウンスペースを計画した。

過去問 **○**

4. 集合住宅の共用廊下において、高齢者、障がい者等の通行の安全上支障がないように、各住戸の外開き玄関扉の前にアルコーブを設けた。

新問 **○**

5. 公衆便所において、杖使用者等が立位を保つために、床置き式の男子小便器の両側に設ける手摺すりの高さを、床面から850mmとした。

正答肢が重要な過去問と同じ割合

重要な過去問で決まる問題の割合

科目	過去問で決まる問題		新規で決まる問題
	重要過去問	過去問	
計画	76%		24%
	60%	16%	
法規	68%		32%
	44%	24%	
構造	80%		20%
	72%	8%	
施工	68%		32%
	60%	8%	

R5本試験問題の分析

攻略のポイント2

- ①重要な過去問から押さえる。
 - ➡重要な過去問だけで、6割とれる！（法規は例外）

- ②法規は法令集が持ち込み。
 - ➡法令集の使いこなしが重要！

3.【7割逆算式学習法】

【7割逆算式学習法】

1. 目標点を7割に置く！
2. 頻出過去問から学習を始める
3. 1200(400)の攻略法
4. 良い教材を選ぶ
5. 学習スケジュールを組む
6. 実行する

1. 目標点を7割に置く！

合格基準点

計画 13点 (52%)

法規 13点 (52%)

構造 13点 (52%)

施工 13点 (52%)

合計 60点 (60%)

➡ 目標70点 (7割)

2. 頻出過去問から学習を始める

資格試験にタイパよく合格するためには、
頻出過去問から学習を始めよう！

テキスト



問題集

不必要な箇所まで学習
ポイントの絞れない学習

問題集



テキスト

まとまりのない学習
理解が難しく苦痛

2. 頻出過去問から学習を始める

頻出過去問



テキスト



問題集

的が絞れた学習

理解すべき内容

記憶すべき内容

記憶しやすい

必要な内容を

関連づけて

3. 1200(400)の攻略法

10年分の問題集を解くと

$$4 \text{ 科目} \times 25 \text{ 問} \times 5 \text{ 肢} \times 10 \text{ 年分} \\ = \mathbf{5000 \text{ 肢!!}}$$



やみくもに過去問を学習するのは
効率的ではない……

3. 1200(400)の攻略法

- ・ 出題頻度の高い肢にしぼると
約 $1/4$ (約1200) に集約できる。
- ・ 正答肢になりやすい肢にしぼると
更に $1/3$ (400) に集約できる。

3. 1200(400)の攻略法

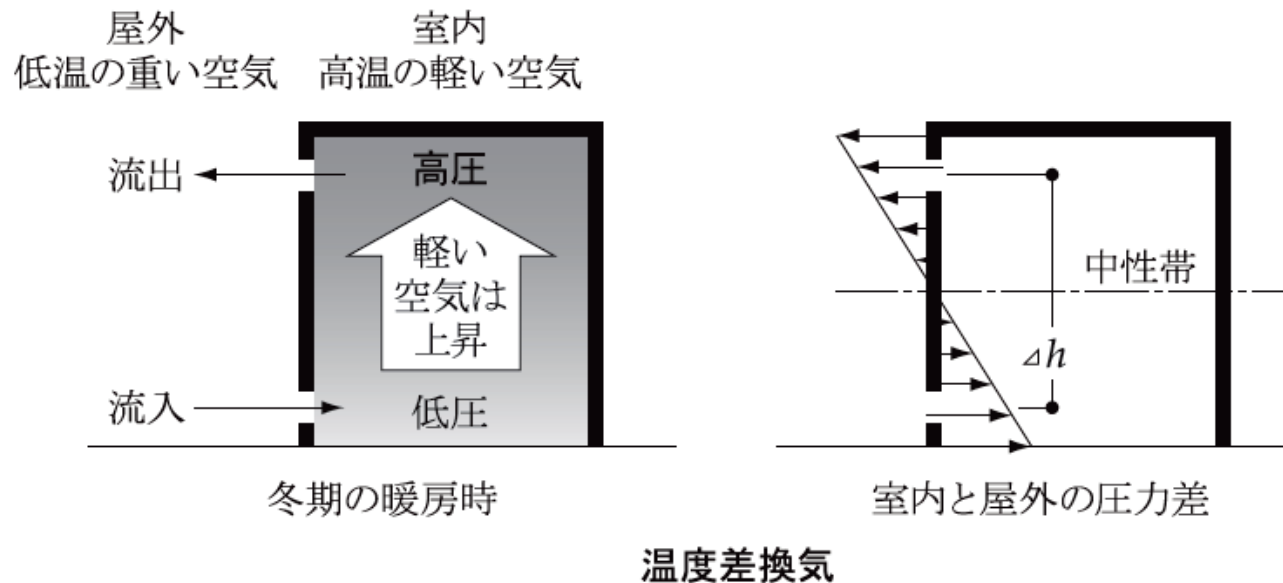
- i) IN PUT学習のコツ
(理解・関連付け・イメージ)

- ii) OUT PUT学習のコツ
(問題を解く・繰り返す)

3. 1200肢(400肢)の攻略法

i) IN PUT学習のコツ (理解する)

温度差換気において、外気温度が室内温度よりも低い場合、中性帯よりも下方から外気が流入する。○

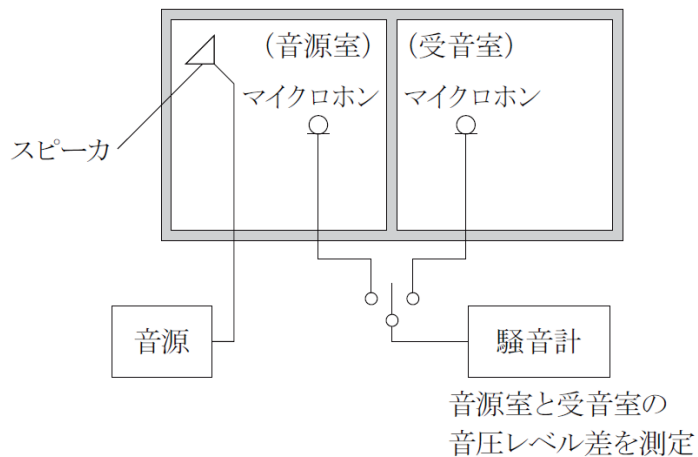


3. 1200肢(400肢)の攻略法

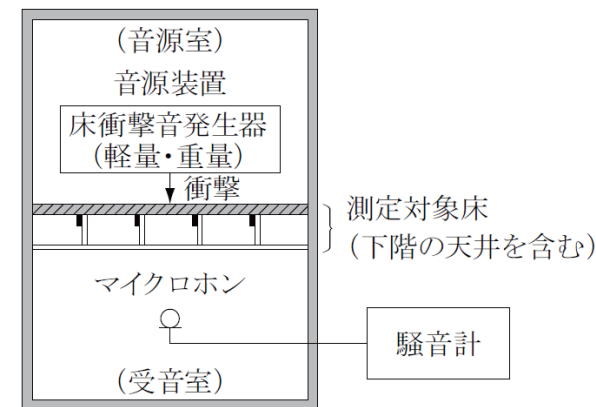
i) IN PUT学習のコツ (関連付け)

空気音遮断性能の等級(Dr値)は、その数値が大きいほど性能が優れている。○

床衝撃音遮断性能の等級(Lr値)は、その数値が小さいほど性能が優れている。○



空気音遮断性能(室間音圧レベル差)の測定法

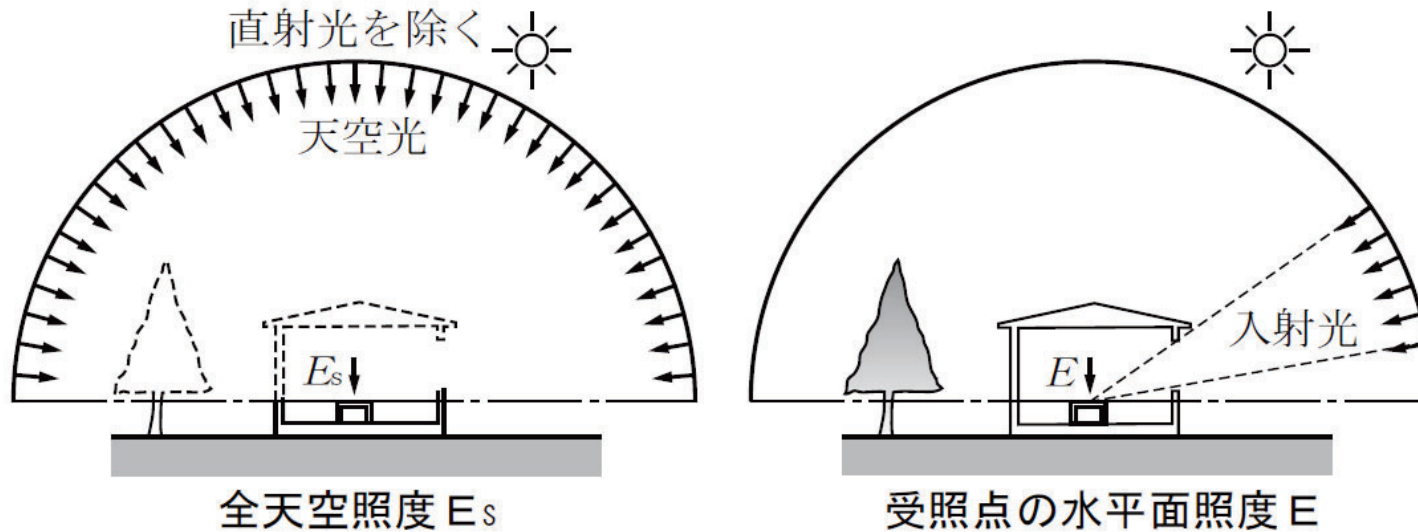


床衝撃音レベルの測定法

3. 1200肢(400肢)の攻略法

i) IN PUT学習のコツ(イメージをつかむ)

昼光率は、全天空照度に対する、室内におけるある点の昼光による照度の比率である。○



3. 1200肢(400肢)の攻略法

ii) OUT PUT学習のコツ

1. 問題を解く

- ・ 理解できている箇所と出来ていない箇所がわかる。
- ・ 覚えるべきポイントがわかる。

3. 1200肢(400肢)の攻略法

ii) OUT PUT学習のコツ

2. 繰り返し解く

- ・ 記憶を定着させるためには繰り返しが必要
- ・ 同じ問題を繰り返し解く
- ・ 回数を重ねるほどに速度をあげる

3. 1200肢(400肢)の攻略法

ii) OUT PUT学習のコツ

3. 本試験問題の練習をする

- ・ 本番と同じ時間・問題数の練習
- ・ 分からない肢の混じった5択の解き方

4. 良い教材を選ぶ

TACでは、次の教材を準備しています！

- i) 頻出過去問一覧
- ii) テキスト
- iii) 問題集
- iv) 中間テスト、模擬テスト、直前テスト

4. 良い教材を選ぶ

i) 頻出過去問一覧

公共建築 頻出問題一覧

No	内容	出題年度	肢	問題	正誤
1	教室型	3014	3	小学校において、学年ごとのカリキュラムに対応するため、低学年は総合教室型とし、高学年は特別教室型とした。	正
2	ホームベース	R0514	5	教科教室型の中学校において、学校生活の拠点となるホームベースを、教室移動の動線から離して、落ち着いた奥まった位置に設けた。	誤
3	多目的スペース	2914	4	小学校において、多様化する学習形態に合せたワークスペースとして、多目的スペースを普通教室に隣接して設けた。	正
4	小学校床面積	2816	5	小学校において、30人学級の普通教室の床面積を48㎡とした。	正
5	黒板	R0415	4	中学校の教室において、「黒板や掲示板」と「その周辺の壁」との明度対比が大きくなり過ぎないように、色彩調整を行った。	正
6	保育室の床面積	2816	4	保育所において、定員24人の保育室の床面積を36㎡とした。	誤
7	ほふく室の床面積	R0216	3	保育所において、乳児及び2歳未満の幼児を対象とした定員10人のほふく室の床面積を40㎡とした。	正
8	3歳児と5歳児	R0314	2	保育所において、保育室の1人当たりの床面積は、3歳児用より5歳児用のほうを広くした。	誤
9	昼寝の場 食事の場	2914	2	保育所の保育室において、昼寝の場と食事の場とを分けて設けた。	正

4. 良い教材を選ぶ

i) 頻出過去問一覧

公共建築 頻出問題解説

No	内容	出題年度	肢	問題	正誤
1	教室型	3014	3	小学校において、学年ごとのカリキュラムに対応するため、低学年は総合教室型とし、高学年は特別教室型とした。	正
2	ホーム ベース	R0514	5	教科教室型の中学校において、学校生活の拠点となるホームベースを、 教室移動の動線から離して、落ち着いた奥まった位置に設けた。 ホームベースは移動の際立ち寄りやすい場所に設ける	誤
3	多目的ス ペース	2914	4	小学校において、多様化する学習形態に合せたワークスペースとして、多目的スペースを普通教室に隣接して設けた。	正
4	小学校床 面積	2816	5	小学校において、20人学級の普通教室の床面積を48㎡とした。 正 1.5㎡/人～2.0㎡/人	正
5	黒板	R0415	4	中学校の教室において、「黒板や掲示板」と「その周辺の壁」との明度対比が大きくなり過ぎないように、色彩調整を行った。	正
6	保育室の 床面積	2816	4	保育所において、定員24人の保育室の床面積を36㎡とした。 1.98㎡/人以上必要	誤
7	ほふく室 の床面積	R0216	3	保育所において、乳児及び2歳未満の幼児を対象とした定員10人のほふく室の床面積を40㎡とした。 正 3.3㎡/人以上必要	正
8	3歳児と 5歳児	R0314	2	保育所において、保育室の1人当たりの床面積は、 3歳児用より5歳児用の 5歳児用より3歳児用を広くする	誤
9	昼寝の場 食事の場	2914	2	保育所の保育室において、昼寝の場と食事の場とを分けて設けた。	正

更に不適当で出題される箇所を絞り込む

4. 良い教材を選ぶ

ii) テキスト

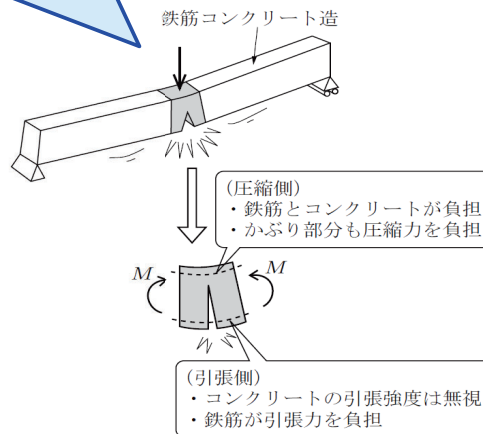
2 梁の設計

鉄筋コンクリート造の梁に大きな曲げモーメントを受けた場合、①引張側の鉄筋が降伏、その後、②圧縮側のコンクリートが圧壊という順での破壊形式が望ましい。この場合、一般的には大きな変形まで耐えることができ、予想外の荷重が作用しても急激に耐力を失うことがない。

① 断面算定の考え方

鉄筋コンクリート造の梁断面は、次の仮定に基づいて算定を行う。

- (1) **豊富なイラスト** コンクリートの引張強度は無視し、引張力は鉄筋が負担する。
- (2) 弾性範囲内ではコンクリートの圧縮応力度は中立軸からの距離に比例する。
- (3) コンクリート内の鉄筋は引張及び圧縮とも有効で、**圧縮側では鉄筋とコンクリートが負担する。**
- (4) 圧縮力の働く部分では、鉄筋に対するコンクリートの**かぶり部分も圧縮力を負担するものとして設計する。**



過去問の
出題箇所

2215 2314 2514 2714
2914 R0114 R0214

2115 2414 2714

4. 良い教材を選ぶ

iii) 問題集

目次

● 構造力学 ●

第1章 建築物に働く力

※近年の出題はありません

第2章 静定構造物の反力・応力

静定ばり	4
静定ラーメン	26
3ヒンジラーメン	44
静定トラス	49

第3章 部材の性質と応力度

断面の性質	74
応力度と許容応力度	94
部材の変形 (たわみとたわみ角)	118
座屈	120

第4章 不静定構造物

※近年の出題はありません

● 一般構造 ●

第5章 構造設計

荷重・外力	144
構造設計	187
既存建築物の耐震補強等	221

第6章 鉄筋コンクリート構造

第7章 鉄骨構造

鉄骨構造	288
鉄骨構造 (接合部)	309

第8章 鉄骨鉄筋コンクリート構造

※近年の出題はありません

第9章 補強コンクリートブロック構造

CB構造	332
------	-----

第10章 木質構造

木質構造 (部材の名称)	342
木質構造 (部材の設計)	365
木質構造 (耐力壁の配置計画)	374
木質構造 (接合部)	386

第11章 地盤と基礎構造

地盤と基礎構造	410
---------	-----

● 建築材料 ●

第12章 建築材料

コンクリート	430
セメント・コンクリート等	456
鋼材等	468
木材・木質材料	488
ガラス	508

過去10年分収録

問250 建築材料 (その他の材料)

C

H2424

- 屋根葺材に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
1. アスファルトシングルは、無機質繊維不織布にアスファルトを含浸、塗布し、表面に着色した砂粒を圧着したもので、一般に、不燃材料ではない。
 2. 住宅屋根用化粧スレートは、「セメント」、「けい酸質原料」、「石綿以外の繊維質原料」などを主原料として加圧成形したものである。
 3. いぶし瓦 (黒瓦) は、粘土を成形し、乾燥させた後に表面に釉薬を施して焼成した瓦である。
 4. 「溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板」は、「溶融亜鉛めっき鋼板」に比べて耐久性に優れている。
 5. チタン板は、一般に、耐久性・耐食性に優れ、銅板に比べて軽量である。

テキストと章立てがリンク

5. 学習スケジュールを組む

- i) 自分の位置を知る
- ii) 試験日から残り日数を計算して
スケジュールを組む

5. 学習スケジュールを組む

i) 自分の位置を知る

令和5年**本試験問題をやってみよう！**

- どんな問題が出題されているか？
- 自分はどれくらいできるのか？
- 合格点をとるためにどれくらい時間がかかりそうか？

建築技術教育普及センターでDL可能
TAC完全解説発売中！

5. 学習スケジュールを組む

ii) スケジュールを組む

1200肢を理解して記憶する

1日10肢として**120日**(3ヶ月)

➡ ・ 学習に時間がかかる科目

法規

構造 (**力学**)

法規・**力学**に自信がない人は早めに学習をスタートさせよう

5. 学習スケジュールを組む

22週	21週	21週	20週	19週	18週	17週	16週	15週	14週	13週	12週	11週	10週	9週	8週	7週	6週	5週	4週	3週	2週	1週	0
1月	2月			3月				4月				5月				6月			7月				
28日	4日	11日	18日	25日	3日	10日	17日	23日	31日	7日	14日	21日	28日	5日	12日	19日	26日	2日	9日	16日	23日	30日	7日
力学基礎1	力学基礎7	力学基礎3	力学基礎9	法規1	法規7	法規3	法規9		構造1	構造7	構造3	法規1	法規7	法規3	計画1	計画7	計画3	施工4	施工0	公開模試	総まとめ講義	直前テスト	試験本番
力学基礎1	力学基礎7	力学基礎3	力学基礎9	法規1	法規7	法規3	法規9		構造1	構造7	構造3	法規1	法規7	法規3	計画1	計画7	計画3	施工4	施工0				
力学基礎4	力学基礎0	力学基礎6	力学基礎2	法規4	法規0	法規1	法規2		構造4	構造0	構造1	法規4	法規0	法規6	計4	計0	計1	施工1	施工7	公開模試	総まとめ講義	直前テスト	試験本番
力学基礎4	力学基礎0	力学基礎6	力学基礎2	法規4	法規0	法規1	法規2		構造4	構造0	構造1	法規4	法規0	法規6	計4	計0	計1	施工1	施工7				
力学基礎6	力学基礎1	力学基礎8	力学基礎2	法規6	法規1	法規1	法規8		構造6	構造1	構造1	法規6	法規1	法規1	計6	計1	計2	施工3	施工9	公開模試	総まとめ講義	直前テスト	試験本番
力学基礎6	力学基礎1	力学基礎8	力学基礎2	法規6	法規1	法規1	法規8		構造6	構造1	構造1	法規6	法規1	法規1	計6	計1	計2	施工3	施工9				

総合学科本科生

学科本科生

6. 実行する

目標を達成するための手順

- i) 目的をはっきりさせる
- ii) 計画をたてる
- iii) 実行する
- iv) 調整する

6. 実行する

i) 目的をはっきりさせる

二級建築士を取得したら、
どのようないいことがあるの
だろうか？

6. 実行する

ii) 計画をたてる

G A Pを埋めるために

- ・いつまでに
- ・何を
- ・どれくらい

試験日までの日数を**逆算**して

- ・月単位⇨週単位⇨日単位
- ・具体的な目標を決める

6. 実行する

iii) 実行する

- とにかく**行動**する気持ちが大重要
- 資格試験は環境を整えることが大重要
職場、家族の**協力**を得よう
- 学習の習慣を身につける
毎日少しでもいいからやる
朝やる
必ずやる

6. 実行する

iii) 調整する

- 上手くいかなくてあたりまえ
- やった結果から、計画と行動を変えてみる
- 休憩も大事

4. TAC講座のご紹介

講義スケジュール

主な二級コース

- ① 総合学科本科生 …………… 基礎からはじめるコース
- ② 学科本科生 …………… 学科対策のベーシックコース
- ③ 総合設計製図本科生 …… 早めの準備で製図に備える
- ④ 設計製図本科生 …………… TAC自慢の製図メソッド

2024年		1	2	3	4	5	6	7	8	9
①総合学科		力学基礎・法規基礎			本講義		公開模試	総まとめ講義		
②学 科					本講義		総まとめ講義	学科本試験		製図本試験
③総合製図				設計製図早期講義					設計製図講義	
④製 図									設計製図講義	

価格と開講校舎(学科対策)

早割キャンペーン 第3弾

通常受講料より¥33,000割引

【受講料・コースNO.一覧】 申込期間2023年12月1日(金)~2024年1月16日(火)

※税込、教材費込

二級総合学科本科生	教室講座・ビデオブース講座	241-204	¥264,000	→	¥231,000
	Web通信講座	241-213	¥264,000	→	¥231,000
	DVD通信講座	241-222	¥286,000	→	¥253,000
二級学科本科生	教室講座・ビデオブース講座	241-231	¥198,000	→	¥165,000
	Web通信講座	241-240	¥198,000	→	¥165,000
	DVD通信講座	241-249	¥220,000	→	¥187,000

**【アンダー25】お申込み時点で26歳の誕生日を迎えていない
又は学生の方は、さらに¥44,000割引**

【教室講座】
新宿校・梅田校



【Web通信講座】
オンデマンド配信 (新宿校)

【ビデオブース講座】

札幌校 / 仙台校 / 水道橋校 / 新宿校 /
池袋校 / 渋谷校 / 八重洲校 / 立川校 /
町田校 / 横浜校 / 大宮校 / 津田沼校 /
名古屋校 / 京都校 / 梅田校 / なんば校 /
神戸校 / 広島校 / 福岡校

価格と開講校舎(製図対策)

▶ 二級建築士 設計製図対策コース一覧&受講料(教材費・10%税込)

コース名	授業数	学習メディア	通常受講料	アンダー25 受講料	コース概要&カリキュラム	開講月	教室講座 開講校舎
設計 製図本科生 	全8回	教室講座	¥220,000	¥198,000	製図の基本から応用まで、丁寧に指導。個別カウンセリングで 実力を高めることができます(全7課題添削) 設計製図講義	2024年 7月より 順次	新宿校・ 池袋校・ 渋谷校・ 八重洲校・ 横浜校・ 名古屋校・ 梅田校・ なんば校
		Web通信講座	¥143,000	¥121,000	インプットは動画講義で学習し、TACの自習室や自宅等で作図。 答えは講師が丁寧に添削して返却(添削回数4回)		
		DVD通信講座	¥154,000	¥132,000	設計製図講義		
総合設計 製図本科生	全11回	教室講座	¥242,000	¥220,000	早期はオンラインで作図を学び、 その後設計製図本科生に合流します。 製図早期講義 + 設計製図講義	2024年 3月より 順次	
		Web通信講座	¥165,000	¥143,000			

(総合)学科本科生と設計製図
本科生を同時に申し込むと

設計製図本科生受講料が2万2千円割引!

土曜クラス: 八重洲校・名古屋校
日曜クラス: 新宿校・池袋校・渋谷校・横浜校・梅田校・なんば校
水曜クラス: 新宿校



【学科対策】再受講 講義料無料制度①

指定の条件を満たしている方が、
2024年二級建築士学科試験において万が一不合格と
なってしまった場合、
2025年合格目標 二級総合学科本科生・学科本科生
教室講座を**講義料無料**で受講できます。

再受講時には教材費のみ、お支払ください。
※教材費は¥30,800です。

指定の条件は次ページ

【学科対策】再受講 講義料無料制度②

以下条件を満たす必要があります。

A 教室講座（8割以上出席）

「総合学科本科生」は全125回中100回以上出席

「学科本科生」は全77回中62回以上出席

（Webフォローは不可、ビデオブースフォローは可）

B 公開模試を会場で受験し、6割以上の正解をすること。（自宅受験は不可）

- ・A・Bの両方を満たす場合は再受講 講義料無料が適用されます。
- ・上記を満たさない場合は、再受講割引（40%）をご利用いただけます。

ビデオブースフォロー・Webフォロー

ビデオブースフォロー

TAC校舎のビデオブースで講義
動画の視聴が可能！

※申し込み前に始まっている講義は無料で視聴可。
※申し込み後の利用は有料（¥500）です。



Webフォロー

オンラインで講義を視聴可能。追加料金は不要です。
復習の際や欠席時に活用ください。

お申し込み方法

以下4つの方法からお選びください。

1. T A C 受付窓口
2. 便利なオンライン「e 受付」
3. 郵送
4. 大学生協等代理店

詳細はこちら ⇒

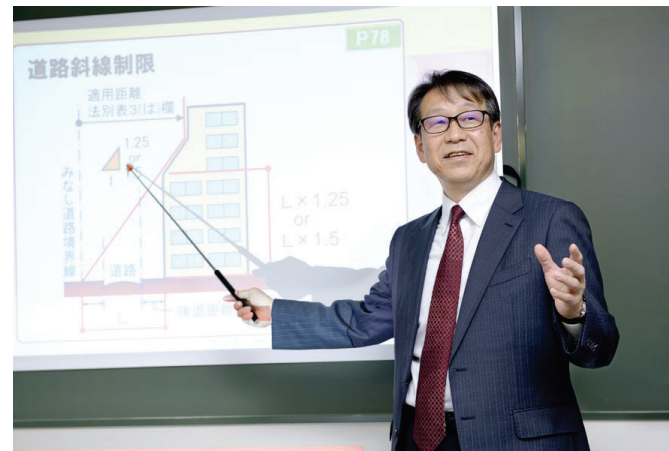


無料体験「総合学科本科生」

講義の内容と教材の質に自信があります！TACではお申込み前に講義を無料で体験受講することができます。まずは講義を体験していただき、実際の雰囲気や講義の質をお確かめください。

【教室講座】 予約不要
新宿校・梅田校
1月28日(日) 9:00~

【ビデオブース講座】
要予約 (校舎へお電話ください)
2月1日(木)以降視聴可能



質疑応答

本日はありがとうございました。

ZOOM画面を終了いただくと簡単なアンケートがありますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

アンケートにご協力いただいた方にe受付で使用可能なTAC入会金(¥10,000)免除コードをご登録アドレスあてにメールにて送付します。